

一歩

社会福祉法人 アルカディア

令和6年 2月発行 第62号

テーマ

2025年問題について
～障がい福祉の仕事の魅力とは？～

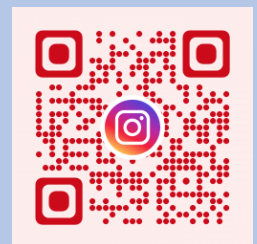
麦の家
(HP)



はばたき
(HP)



GH
(instagram)



利用者募集中！

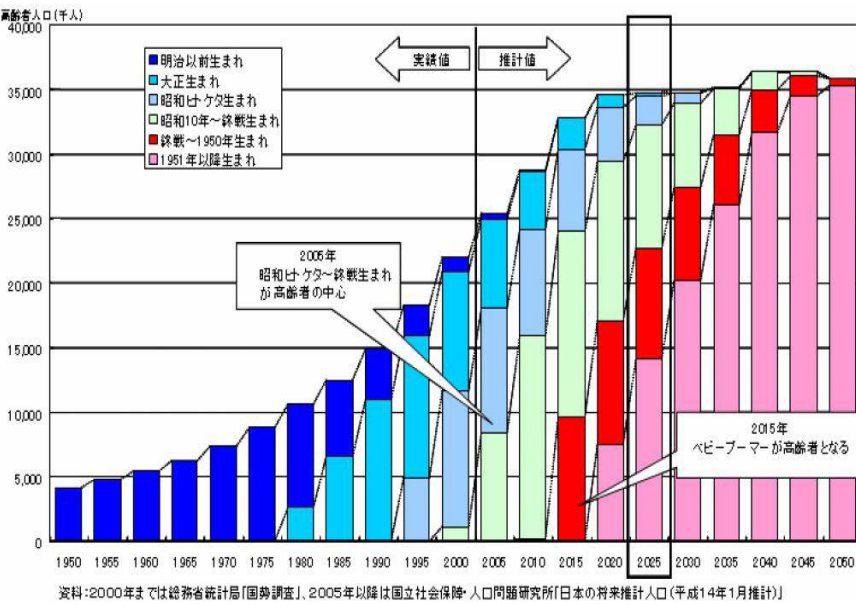
先ずはお気軽にご連絡ください。お待ちしております！

2025年問題とは？

概略

2025年問題は、団塊の世代（1947～1949年生まれ）が2025年頃までに75歳以上の後期高齢者となり、これに伴い超高齢化社会が本格的に到来することに焦点を当てた問題。この問題の背景には、超高齢化社会がもたらす労働力不足や医療・介護人材の減少などがあり、企業には様々な影響を及ぼす可能性が考えられる。

図1 世代別に見た高齢者人口の推移

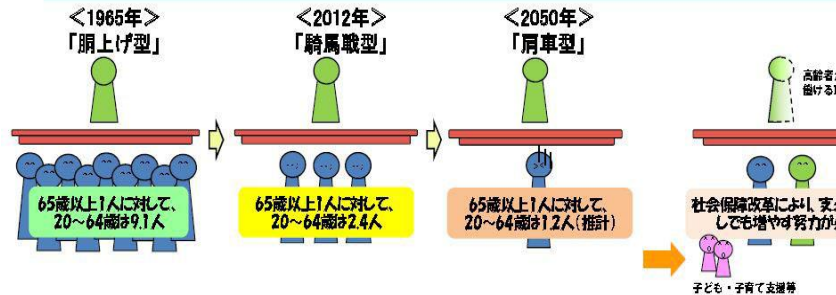


- 「2025年問題」とは、団塊の世代が2025年頃までに後期高齢者（75歳以上）に達する事により介護・医療費等社会保障費の急増が懸念される。
- 左のグラフは、平成27年（2015年）に「ベビーブーム世代」が前期高齢者（65～74歳）に到達し、10年後の平成37年（2025年）高齢者人口は、約3,500万人（人口比約30%）に達すると推計されている。
- （平成18年厚生労働省・委員会報告書より抜粋）

- 労働力の減少と高齢者の雇用問題
- 働き手不足による企業業績への影響
- 事業継承と後継者不足
- 医療・介護・福祉人材の不足
- 経済構造の変化と産業の適応

「肩車型」社会へ

今後、急速に高齢化が進み、やがて、「1人の若者が1人の高齢者を支える」という厳しい社会が訪れることが予想されています。



人口(万人)・構成比	1965年	2012年	2050年
65歳以上	623 (6.3%)	3,083 (24.2%)	3,768 (38.8%)
64歳以下	5,650 (56.9%)	7,415 (58.2%)	4,643 (47.8%)
20歳以上	3,648 (36.8%)	2,252 (17.7%)	1,297 (13.4%)
19歳以下	-	-	-
1年間の出生数(千人)	182万人 (2.14)	102万人 (1.37)	56万人 (1.35)

(出所)総務省「国勢調査」、社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」（出生中位、死亡中位）、厚生労働省「人口動態統計」

1

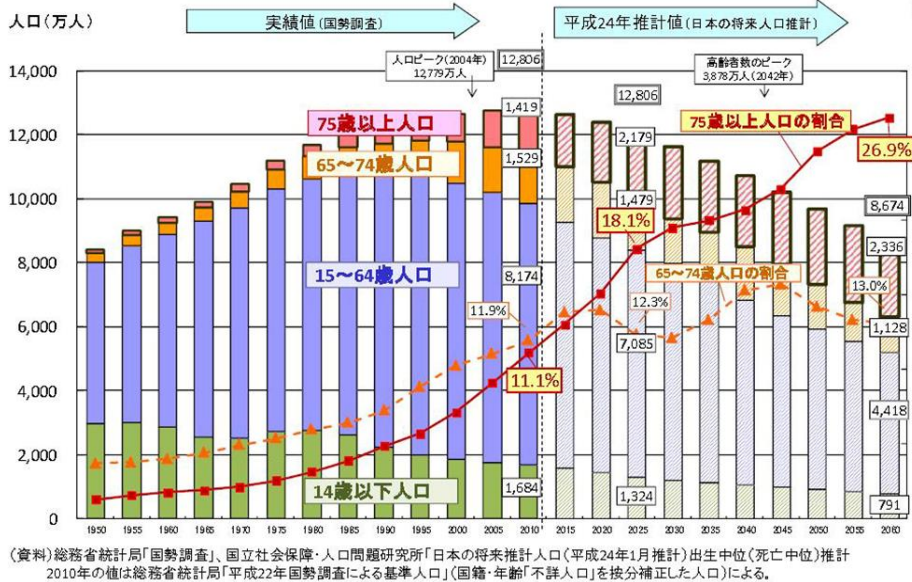
課題

- 社会保障費用の負担は「胴上げ型」→現在「騎馬戦型」→2050年は「肩車型」社会へ
- 高齢者（65歳以上）1人に対して生産年齢人口（15～64歳）が何人で負担するか？という人数も大きく変化して来ている。
- 「胴上げ型／1965年」高齢者1人に対し生産年齢人口9.1人。
- 「騎馬戦型／2012年」高齢者1人に対し生産年齢人口2.4人。
- 「肩車型／2050年」高齢者1人に対し生産年齢人口1.0人。
- 低い出生率と諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進行して年金等厳しい社会保障費負担の社会到来が予想される。

75歳以上の高齢者数の急速な増加

進むべき方向性とは？

- 公費負担の見直し
- 医療/介護/福祉人材の確保
- 地域包括ケアシステムの構築



- 後期高齢者数(75歳以上)の急速な増加
- 上のグラフは、国勢調査(平成22年/2010年まで)の数値および日本の将来推計(平成24年/2010年)の推計数を基に年代別の人口推移を表したもの。(濃い色は実数、薄い色は推計。)
- 【世代別人口の分類】
- 14歳以下人口、15~64歳人口(生産年齢人口)
- 65~74歳人口(前期高齢者)、75歳以上人口(後期高齢者)
- 2025年には高齢者は全体の約30%(3人に1人)となる。

解決策は？

- 雇用、年金、医療、介護などの各分野における対策が必要
- 年金や保険料といった公費負担の公平化や、多様な人材の確保のために施策、予防医療への取り組みの拡大、介護保険制度の改革等が挙げられている。

魅力について

2025年問題では課題として公費の負担の見直し、医療福祉等の「人材の確保」、地域包括ケアシステムの構築が挙げられます。

福祉は、社会全体が共に支え合い、誰もが尊重され、安心して生活できる環境を築くための重要な要素と考えられており、その魅力は、人間らしい生活を営むための基盤を提供し、個々の個性や能力を尊重する社会の実現を目指していくこと。健康、教育、雇用、住居など、多岐にわたる面で個人や共同体を支援し、成長と発展を促進させていき、差別や排除がない社会を築くことを目指している。その中で社会福祉法人で働くものとして、より具体的な「福祉の仕事の魅力」についてまとめてみました。

障がい福祉サービスの魅力とも言える【リカバリーを感じた瞬間】をご紹介します。

「施設入所から単身生活に移行した利用者」

施設入所中は、職員、他者に挨拶はしない寡黙な方でした。単身生活移行時、ポイント(一人暮らしで大切なこと)となりそうなことを職員から助言させて頂き、単身生活はスタートとなりました。様々な生活上の課題もありながら、単身生活が数年続きましたが、残念ながらお亡くなりになりました。

その際、ご本人の家族が近隣の方に挨拶をした際に「しっかり挨拶をしてくれて、障がい者だと思わなかった。」と、お話を聞きました。

単身生活を続けて行く中で、元々持っていた大切な表現【挨拶】を自分の居場所づくりのために心掛けていたことをお亡くなりになって初めて知ることになりました。

ご本人がお亡くなりになって直ぐでしたが、ご家族が嬉しそうに話をしてくださったのを今でも思い出します。

障がい福祉の仕事の魅力

GH久保田

「福祉職は、ありがたいが貰える仕事。人の役に立てる仕事。」

これがオーソドックスないわゆる一般的な“やりがいイメージ”かなと思う。

私はこうは思わない。私はありがたいが欲しくてやっているわけではないし、役に立っているかどうかなんて正直自分じゃわからない。なんならそういうのは恩着せがましいとさえ思ってしまう。

利用者さまがそれぞれ自分らしく笑顔で生活されているのを端っこで見ている時が、私にとっての“やりがい”を感じる瞬間である。

さて、本題の“仕事の魅力”として私が考えるのは、

- ・自分の世界を広げることが出来る。
- ・この世界に飛び込むことでしか得られない体験や知識(病院や行政とのやりとり・薬や病気の知識など)に触れることが出来る。
- ・毎日違った業務をしているので、新鮮。この3点。

私はアルカディアに入職するまで多種多様な仕事に就いてきた。

その中でもこの仕事は群を抜いて“毎日新鮮”。

社用車を乗りこなし1日中運転していると思えば、デスクワークに追われる1日もある。利用者さまと一緒にボードゲームや散歩、買い物を楽しむ1日や、時には業者並みの掃除をする1日もある。もちろん時には大変な“試練の1日”もあるが…

おかげさまでエアコン掃除の仕方、電子機器の直し方、終にはセールスの断り方までも身に付いた。利用者さまと一緒にサイクリングするために、ウン年ぶりに自転車にも乗った。

こうして入職から丸4年経った今、利用者さまのために…と身に付けたものは結果、全て自分のためにもなっている。

時折、利用者さまが教えてくださる生活の知恵やレシピなんか、私の日常ですごく助かっているし、役に立っている。そして何より、そういう他愛もない話をしている時間が、私はすごく好きだ。専門職だとか人を支援するだなんて言うの大それた仕事に感じるかもしれないが、蓋を開けてみると私たちは“日常に少しおじゃましているだけの人”なのかなと思う。

(お給料いただいているんだからきちんと仕事しろ！と言われるかもしれないが…)

障がい福祉へのハードルや色眼鏡を取り払う理由で、グループホーム事業所のInstagramを始めさせてもらった。初めは同業のフォロワーだけだったのが、最近は一般の方がフォローしてくれたり、投稿を見てくれている。なんだかとっても嬉しい気持ちになる。

障がい福祉の世界を堅苦しく考えずに、一度えいっと飛び込んでみるのもいいんじゃないだろうか。そういう人が今後世の中に増えてくれると、たいへん嬉しく思う。

コラム

【編集後記】

桑の実どどめ

私が小学生の時、学校の帰り道、桑の実を帽子の中にたくさん入れ、帽子に紫色の汁がついてしまったことを思い出す。

その桑の実を口いっぱい放り込んで、味が口に広がり、口の周りは紫色で、まるで妖怪ようになっていた。今も散歩していると桑の実がある。小学生の時を思い出し、桑の実を取ろうとするが、フェンスがあつて届かない。あの時の甘酸っぱい思いは、桑の実が出来たときに再チャレンジだ。甘酸っぱい思いをもとに。とんとん

本文を通じて福祉の仕事の魅力に焦点を当て、その多様性や深いやりがいを感じる瞬間を共有できたことを嬉しく思います。

福祉の仕事は、支援と共感が不可欠なものであり、その中での挑戦は同時に成長の機会とも感じる場合があります。利用者との深い信頼関係を築きながら、自分らしい生活を築く手助けをすることは、何よりもやりがいを感じさせてくれます。また、様々な状況に対処する中で、柔軟性や創造性を発揮することが求められ、それが新たな解決策やアプローチの発見に繋がることにとてもやりがいと魅力を感じます。

法人本部：群馬県太田市鶴生田町733-123
TEL：0276 (20) 2509 FAX：0276 (20) 2510
ホームページ：<http://arcadia-gr.com/>